

1. 夢プランワーキング会議・学生ワーキング会議

(1) 夢プランワーキング会議

日時： 第1回 令和5年9月25日（月）、 第2回 令和5年11月29日（水）

構成： 須崎 秀人 公募委員 ※座長 長谷川 由香 子育て向上委員会代表
本堂 ゆき 学生ワーキング代表 水島 栄美子 子育て支援はぐはぐそのままいいよ代表
吉本 隆史 金沢市放課後児童クラブ協議会副会長 米川 祥子 金城大学短期大学部幼児教育学科教授
渡辺 恵 金沢市PTA協議会副会長 (50音順)

(議題と主な意見)

【議題1】次期夢プラン策定に向けての課題について

こどもとの関わり、居場所について

- ・地域の中で人とつながる機会の充実や、住民が活動に参加しやすくなる仕組みづくりが必要。
- ・中学生、高校生の放課後の居場所が少ない。

子育て環境の充実について

- ・共働き世帯が増える中、安心して働ける環境の整備が重要。
- ・0歳から預けられる保育園やこども園の整備が必要。

子育てに関するイメージについて

- ・子育てに対する「負担・責任が大きい」などのマイナスのイメージを払拭する必要がある。
- ・青年期に子どもと関わる経験をすることや、安心して子育てをしているモデルを若者に見せることが必要。

その他

- ・次期子育て夢プランには、子どもや若者の視点や思いを入れられたらよい。
- ・金沢で育った若者が県外に流出している現状を変えていく必要がある。
- ・情報を自ら入手できない人にどのようにして情報を提供するかが課題。
- ・子育て支援を行う側（保育士、児童クラブ支援員等）の支援についても次期プランに盛り込んではどうか。

【議題2】アンケートの実施方法・調査内容について

- ・20代の若者に対して、金沢市の定住意向、結婚や子育て、働き方やワークライフバランスについて意見を聞いてはどうか。
- ・中高生の保護者に対して、教育費の負担感についての設問を入れてはどうか。
- ・55歳から75歳以下の市民に対し、こどもや若者との交流の希望について聞いてはどうか。

(2) 学生ワーキング会議

日時： 第1回 令和5年9月1日（金）、 第2回 令和5年11月27日（月）

構成： 大学生 14名

(内訳)

県内出身・県内在住	5名
県内出身・県外在住	4名
県外出身・県内在住	5名

(議題と主な意見)

【議題1】 ライフプランや子育てに関する意見交換

ライフプランについて

- ・ 出会いの場がない。
- ・ 結婚したい気持ちはあるが、具体的にライフプランを考える機会がない。

子育てについて

- ・ 金銭面の不安がある（自身の奨学金の返済が負担）
- ・ 子育ては地域や先輩ママとのつながりや、相談できる環境が大切だと思う。

ワークライフバランスについて

- ・ 仕事よりは家族との時間やプライベートを大事にする傾向があると思う。
- ・ 出産後も働き続けられる環境を希望する。

幼少期からこれまでの自身や周囲の体験を踏まえた思い

- ・ こども食堂にボランティアで関わっているが、自身の子どもの頃も大学生と関わる機会があればよかったと思う。
- ・ 自身の不登校の経験から、そのような子どもへの継続的な支援の重要性を感じる。
- ・ 子どもだけでも行動ができるよう、ひとり親の家庭等に公共交通の助成があるとよかった。
- ・ 駅前やまちなかに学習スペースやユースセンター（中高生向けの放課後施設。第3の居場所）があるとよい。

【議題2】 若者向けアンケートの検討・精査

- ・ 相談支援や居場所についての設問を入れてはどうか。
- ・ 若者が回答しやすいよう、選択肢の見直しや追加をして欲しい。

2. 事業計画ワーキング会議

日時：第1回 令和5年8月31日（木）

第2回 令和5年11月2日（木）

構成：加藤 孔二 石川県私立幼稚園協会金沢支部 副支部長 木村 昭仁 金沢市認定こども園協会 会長
 高柳 晃一 金沢市社会福祉協議会 会長 高柳 八朗 金沢市社会福祉協議会保育部会 副部会長
 藤井 千里 金沢市保育士会 会長 ※座長 三谷 靖子 金城大学人間社会科学部子ども教育保育学科准教授
 米田 茉耶 公募委員 六角 康成 金沢市社会福祉協議会保育部会 部会長（五十音順）

（主な議題）

1 保育士の確保について

【検討事項】

- ① 採用（リクルート）の充実及び保育士の魅力の発信
（中学生体験・キャリア教育推進事業の積極的活用 等）
- ② 定着率の向上・働きがいのある職場の構築
（現役保育士の意識調査の実施 等）

【主な意見】

- ・学生がなぜこの道を目指したかという理由として、「自分の幼稚園・保育園時代の先生に憧れた」や「中学の職場体験」が多いと思う。
若者へ保育士の魅力を発信することが業界全体として重要
- ・潜在保育士やリタイア後の資格取得者なども確保策として有効

2 こども誰でも通園制度（仮称）等について

【検討事項】

- ① 国の検討会での議論の報告
- ② モデル事業実施自治体（品川区・文京区）の視察報告

【主な意見】

- ・国の動きを見ながらも、定期利用保育の受け入れや一時預かり保育の受け入れなど他制度も併せて、総合的に考えるべき

3 職員配置基準について

【検討事項】

- ① 本市としての考え方の整理

【主な意見】

- ・保育士がゆとりをもって保育ができる体制づくりが必要
- ・職員配置の手厚さが、よりよい発達に繋がり、充実した配置をすべき。